



Microsoft Outlook 2013

IJセキュアMXサービス メールボックスプラスオプションのメールサーバはSSL/TLS及びSubmissionポートに対応しています。SSL/TLSを利用すると電子メールの送受信を暗号化することができます。ここでは、それぞれの機能を利用する設定方法について説明します。

初めて設定をする

STEP
1



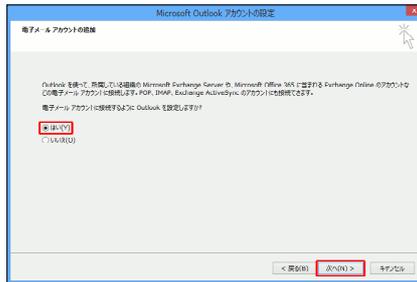
「Outlook 2013」 タイルをクリック（タップ）します。

STEP
2



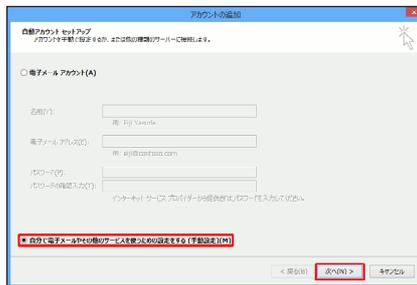
「次へ」 をクリック（タップ）します。

STEP
3



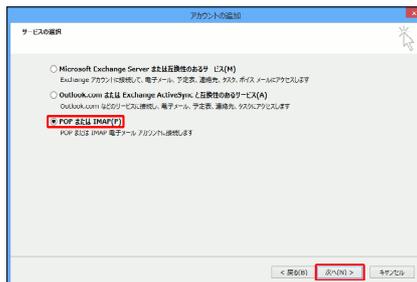
「はい」 を選択し、「次へ」 をクリック（タップ）します。

STEP
4



「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定)」を選択し、「次へ」をクリック（タップ）します。

STEP
5



「POPまたはIMAP」を選択し、「次へ」をクリック（タップ）します。

STEP 6

アカウントの設定

POP3 と IMAP のアカウント設定
お客様のアカウントのサーバー情報はあらかじめ入力済みです。

ユーザー情報
名前(N): [ijj-taro]
電子メール アドレス(E): [ijj-taro@example.jp]

サーバ 情報
アカウント設定の種別(T): [POP3]
受信メールサーバー(S): [mail.securemx.jp]
送信メールサーバー(S): [mail.securemx.jp]

アカウントの種類
POP3 (P)
IMAP (I)

パスワード(P): [*****]

詳細設定(D)...

▼名前

お客様のお名前を入力
(例: iij-taro)

▼電子メールアドレス

お客様のメールアドレスを入力
(例: iij-taro@example.jp)

▼アカウントの種類

「POP3」または「IMAP」を選択

▼受信メールサーバー

「mail.securemx.jp」を入力

▼送信メールサーバー (SMTP)

「mail.securemx.jp」を入力

▼アカウント名

お客様のメールアドレスを入力
(例: iij-taro@example.jp)

▼パスワード

お客様のメールパスワードを入力

「詳細設定」をクリック (タップ) します。

STEP 7

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O)

受信メールサーバーと同じ設定を使用する(U)

次のアカウントとパスワードでログインする(L)

アカウント名(N):
パスワード(P):

パスワードを保存する(R)

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

メールを送信する前に受信メールサーバーにログインする(L)

OK キャンセル

「送信サーバー」タブをクリック (タップ) します。

▼送信サーバー (SMTP) は認証が必要

項目をチェック

▼受信メールサーバーと同じ設定を使用する

項目を選択

「詳細設定」タブをクリック (タップ) します。

STEP 8

▼「POP3」を選択した場合

インターネットメール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

サーバーのポート番号

受信サーバー (POP3)(I): 995 標準設定(D)

このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O): 465

使用する暗号化接続の種類(C): SSL

サーバーのタイムアウト(T)

短い 長い 1分

配信

サーバーにメッセージのコピーを置く(L)

サーバーから削除する(R) 14 日後

【削除済みアイテム】から削除されたら、サーバーから削除(M)

OK キャンセル

▼「IMAP」を選択した場合

インターネットメール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

サーバーのポート番号

受信サーバー (IMAP)(I): 993 標準設定(D)

使用する暗号化接続の種類(C): SSL

このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要(E)

送信サーバー (SMTP)(O): 465

使用する暗号化接続の種類(C): SSL

サーバーのタイムアウト(T)

短い 長い 1分

フォルダー

ルート フォルダーのパス(F):

送信済みアイテム

送信済みアイテムのコピーを保存しない(D)

削除済みアイテム

アイテムを削除対象としてマークするが、自動的には移動しない(K)

削除対象としてマークされたアイテムは、メールボックス内のアイテムが消失されたときに完全に削除されます。

オンライン中にフォルダーを切り替えたアイテムを消去する(P)

OK キャンセル

▼受信サーバー (POP3またはIMAP)

[通常の場合]

「POP3」を選択時は「110」、「IMAP」を選択時は「143」を入力

[SSL/TLSを利用する場合]

「POP3」を選択時は「995」、「IMAP」を選択時は「993」を入力

※「受信サーバー」の後ろの () には、STEP6の「アカウントの種類」で選択した受信プロトコル名が表示されます。

▼このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要

[通常の場合]

項目のチェックを外す

[SSL/TLSを利用する場合]

項目をチェック

※STEP6で「アカウントの種類」に「IMAP」を選択時、「このサーバーは暗号化された接続 (SSL) が必要」というチェック項目ではなく、「使用する暗号化接続の種類」というプルダウンメニューが表示されます。次の設定を行ってください。

▼使用する暗号化接続の種類

[通常の場合]

「なし」を選択

[SSL/TLSを利用する場合]

「SSL」を選択

▼送信サーバー (SMTP)

[通常の場合]

「587」を入力

[SSL/TLSを利用する場合]

「465」を入力

▼使用する暗号化接続の種類

[通常の場合]

「なし」を選択

[SSL/TLSを利用する場合]

「SSL」を選択

「OK」をクリック (タップ) します。

STEP 9

アカウントの編集

POP と IMAP のアカウント設定

既定の POP/IMAP 設定をサーバーに適用する (S) をクリックしてください。

ユーザー情報

名前(N): j-tan

電子メール アドレス(E): j-tan@example.jp

サーバーの種類

アカウントの種類(A): POP3

受信メールサーバー(R): mail.example.jp

送信メールサーバー (SMTP)(O): mail.example.jp

メールサーバーの住所情報

アドレス(A): j.tan@example.jp

パスワード(P): *****

Outlook Express を使用する(S)

アカウント設定のテスト

アカウントが正しく設定されていることを確認してください。

既定の POP/IMAP 設定を自動的にテストする(S)

既定の Outlook Express の設定:

既定の Outlook Express を使用する(S)

詳細設定(D)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

「次へ」をクリック (タップ) します。

STEP 10

アカウントの編集

すべて完了しました

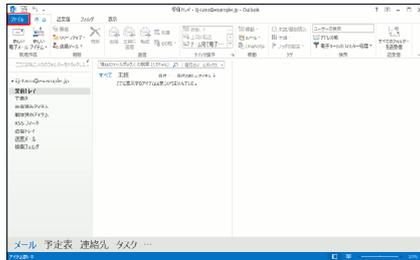
アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。

既定のアカウントの編集(A)...

< 戻る(B) 完了(F) >

「完了」をクリック (タップ) します。

STEP 11



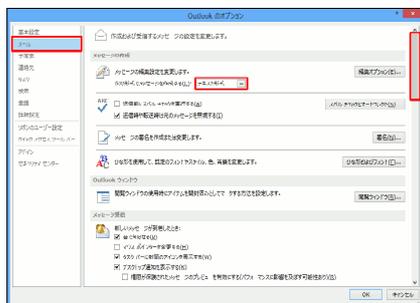
「ファイル」タブをクリック（タップ）します。

STEP 12



「オプション」をクリック（タップ）します。

STEP 13

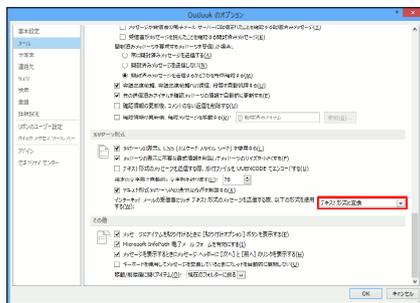


HTML形式のメールを送信した場合、受信される方の環境によっては正常に表示されない場合がありますので、設定を解除することをお勧めします。

「メール」を選択します。

▼次の形式でメッセージを作成する
「テキスト形式」を選択

スクロールバーを下に移動させます。

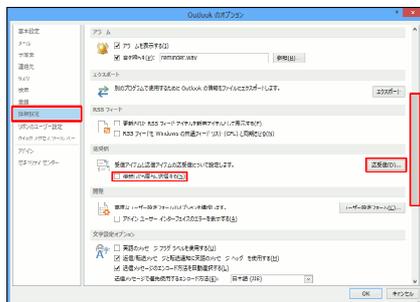


▼インターネットメールの受信者にリッチテキスト形式のメッセージを送信する際、以下の形式を使用する

「テキスト形式に変換」を選択

「詳細設定」を選択します。

STEP 14

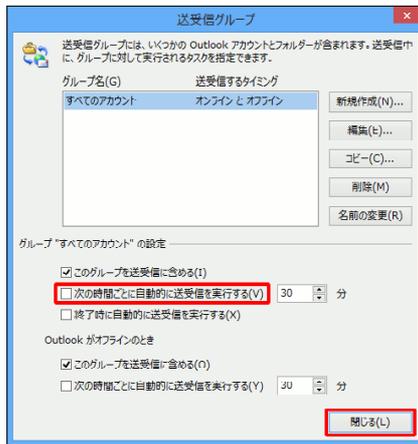


スクロールバーを下に移動させます。

▼接続したら直ちに送信する
項目のチェックを外す

「送受信」をクリック（タップ）します。

STEP 15



▼次の時間ごとに自動的に送受信を実行する 項目のチェックを外す

「閉じる」をクリック（タップ）します。

「Outlookのオプション」画面に戻りますので、「OK」をクリック（タップ）します。

以上で基本的な設定は終了です。

STEP

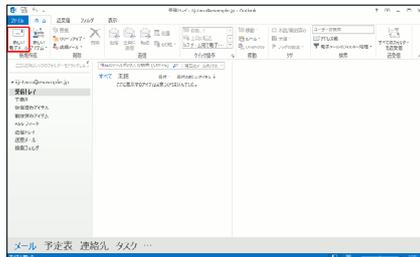
1



「Outlook 2013」 タイルをクリック（タップ） します。

STEP

2

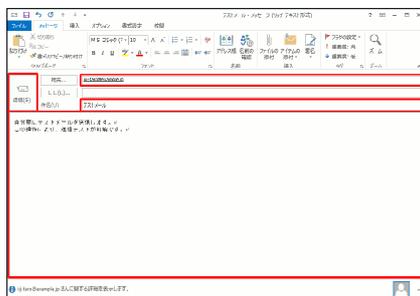


送信方法を説明します。

「新しい電子メール」 をクリック（タップ） します。

STEP

3



▼宛先

送り先の電子メールアドレスを入力
(例： iij-taro@example.jp)

※ここではお客様の電子メールアドレスを入力し、お客様宛にテストメールを送る例を用いています。

▼件名

メールのタイトルを入力

▼メール本文

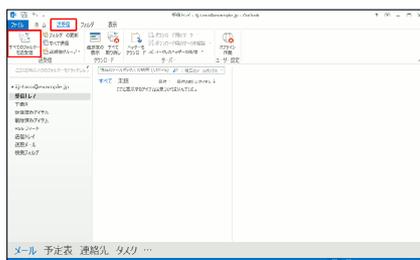
メール本文を入力

「送信」 をクリック（タップ） します。

テストメールが「送信済みアイテム」に移動すれば、送信は成功です。

STEP

4



受信方法を説明します。

「送受信」 タブの「すべてのフォルダーを送受信」 をクリック（タップ） します。

テストメールが「受信トレイ」に入れば、受信は成功です。

設定内容を変更する

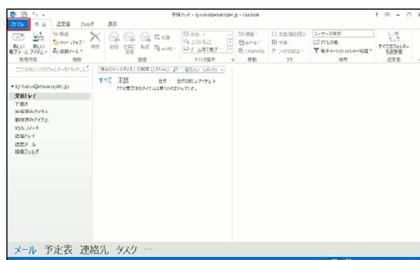
Microsoft Outlookでは、受信プロトコルを変更することはできません。プロトコルの変更を行う場合は、現在の設定を削除し新規で設定を行ってください

STEP
1



「Outlook 2013」 タイルをクリック（タップ）します。

STEP
2



「ファイル」をクリック（タップ）します。

STEP
3



「アカウント設定」を開き、「アカウント設定」をクリック（タップ）します。

STEP
4



「既に作成されているアカウント（例：ijj-taro@example.jp）」を選択し、「変更」をクリック（タップ）します。

STEP 5

▼名前

お客様のお名前を入力
(例：ijj-taro)

▼電子メールアドレス

お客様のメールアドレスを入力
(例：ijj-taro@example.jp)

▼受信メールサーバー

「mail.securemx.jp」を入力

▼送信メールサーバー (SMTP)

「mail.securemx.jp」を入力

▼アカウント名

お客様のメールアドレスを入力
(例：ijj-taro@example.jp)

▼パスワード

お客様のメールパスワードを入力

「詳細設定」をクリック (タップ) します。

STEP 6

「送信サーバー」タブをクリック (タップ) します。

▼送信サーバー (SMTP) は認証が必要

項目をチェック

▼受信メールサーバーと同じ設定を使用する

項目を選択

「詳細設定」タブをクリック (タップ) します。

STEP 7

▼「POP3」を選択した場合

▼「IMAP」を選択した場合

▼受信サーバー（POP3またはIMAP）

[通常の場合]

「POP3」を選択時は「110」、「IMAP」を選択時は「143」を入力

[SSL/TLSを利用する場合]

「POP3」を選択時は「995」、「IMAP」を選択時は「993」を入力

※「受信サーバー」の後ろの（ ）には、STEP6の「アカウントの種類」で選択した受信プロトコル名が表示されます。

▼このサーバーは暗号化された接続（SSL）が必要

[通常の場合]

項目のチェックを外す

[SSL/TLSを利用する場合]

項目をチェック

※STEP6で「アカウントの種類」に「IMAP」を選択した場合、「このサーバーは暗号化された接続（SSL）が必要」というチェック項目ではなく、「使用する暗号化接続の種類」というプルダウンメニューが表示されます。次の設定を行ってください。

▼使用する暗号化接続の種類

[通常の場合]

「なし」を選択

[SSL/TLSを利用する場合]

「SSL」を選択

▼送信サーバー（SMTP）

[通常の場合]

「587」を入力

[SSL/TLSを利用する場合]

「465」を入力

▼使用する暗号化接続の種類

[通常の場合]

「なし」を選択

[SSL/TLSを利用する場合]

「SSL」を選択

「OK」をクリック（タップ）します。

STEP 8

「次へ」をクリック（タップ）します。

STEP 9

「完了」をクリック（タップ）します。
以上で設定内容の変更は終了です。

本書は著作権法上の保護を受けています。
本書の一部あるいは全部について、著作権者からの許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複製、翻案、公衆送信等することは禁じられています。
IIJ、Internet Initiative Japanは、株式会社インターネットイニシアティブの商標または登録商標です。
その他、本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。

本文中では、™、®マークは表示していません。
©2013 Internet Initiative Japan Inc. All rights reserved.
本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

IIJセキュアMXサービス メールボックスプラスオプション
IIJ-SMX095AA-1311CP-00001ZZ